



笠間市 地域包括支援センター
KASAMA

包括ケア会議だより



こんにちは。笠間市地域包括支援センターです。

令和5年度のケア会議がスタートしました。今年度もたくさんの専門職の方と一緒に困難ケースに取り組んでいきたいと思えます。

さて、5月の包括ケア会議は、個別検討会議となり、「精神疾患のある介護者の支援」について話し合いました。本人に関わる介護支援専門員、ヘルパー、家族に関わる相談支援専門員、訪問看護師、病院関係者が参加しました。

★本人が認知症で、介護者に精神疾患があり安定した介護支援が難しいケースについて検討

障害のある介護者が認知症の本人を介護しており、介護負担を軽減するために介護支援専門員が介護サービスを調整しても、直前でキャンセルしてしまうことがよくあります。本人と介護者の気持ちのバランスが難しく、関わるサービス提供者も支援に配慮が必要になる場面が多くなります。また、普段は本人を担当する関係者と介護者を担当する関係者が一堂に会し、検討する機会はありません。今回の会議では、それぞれの関係者が集まり、本

人と介護者の状況や問題を共有し、どうしたらこの世帯を地域で支援していくことができるかを話し合いました。話し合いの中で、それぞれの関係者が本人と介護者を別々にみていくのではなく全員で1つの世帯をみていくことを共通理解し、会議終了後から実践していくことになりました。本人や介護者を関係者全員で支援していくことは、介護者だけでなく関係者自身の安心感にもつながることを学びました。

＊＊3月の検討事例の経過報告＊＊

★「障害サービスから介護サービス移行が困難なケース」

検討の結果、包括支援センターや関係機関で連携を取りながら訪問し、対象者にリハビリ導入を説得していくということでしたが、なかなか話が進んでいません。

検討事例募集中

困難事例でお悩みでしたら、一緒に事例検討しませんか？
下記までご連絡よろしくお願ひいたします。



連絡先 笠間市地域包括支援センター TEL 0296-78-5871